

## 大宮地本主催『平和さんぽ』開催！

in 桶川飛行学校平和祈念館



昨年の首都圏外郭放水路について学ぶ『防災さんぽ』に続き、4月26日に横浜地本の仲間と共に桶川飛行学校平和祈念館の見学及びポールウォークによる『平和さんぽ』を開催しました。昭和12年に熊谷陸軍飛行学校の分教場として開設され、昭和20年3月から特攻隊の訓練場へと転用され、練習機を用いた特攻が行われた事を学びました。

資料館では、少年雑誌に戦闘機のペーパークラフト付録や、政府系報道で軍隊に憧れを抱かせ心象操作で志願兵を募っていた事実も学ぶ事ができました。

館長より「無条件降伏後に大本営ではなく、上長の独断で特攻を命令された方の遺書を見ると、戦争は容易に始まるが終わらせるのは難しいことが分かる。基本的人権が失われるのが戦争だ」とお話をいただきました。

参加者からは「大きな犠牲があり今の平和があることを実感した」、「殺傷能力を持つ武器輸出の解禁は戦争加担に繋がってしまう」、「当事者ではなく共事者という意識が大切だと学んだ」と感想が出されました。



戦後81年目、一年一年が戦後節目の年！

新たな「戦前」にさせないため、

平和への想いを私たちは「つなぐ」！